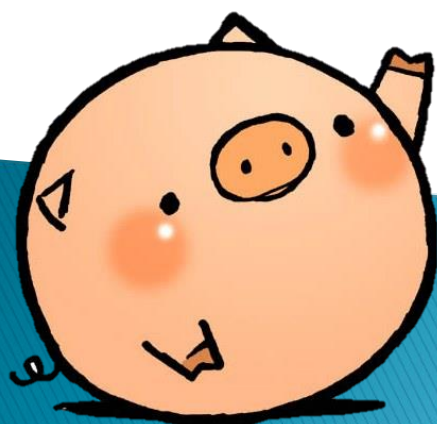


平成29年12月18日(月)
平成29年12月19日(火)

住民主体による支援について

前橋市 介護高齢課



1 新しい総合事業 導入の目的

総合事業の趣旨

総合事業ガイドラインより抜粋

総合事業は、市町村が中心となって、地域の実情に応じて、**住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実**することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを旨とする。

背景・基本的考え方

イ 多様な生活支援の充実

住民主体の多様なサービスを支援の対象とするとともに、NPO、ボランティア等によるサービスの開発を進める。併せて、サービスにアクセスしやすい環境の整備も進めていく。

ロ 高齢者の社会参加と地域における支え合い体制づくり

高齢者の社会参加のニーズは高く、高齢者の地域の社会的な活動への参加は、活動を行う高齢者自身の生きがいや介護予防等ともなるため、積極的な取組を推進する。

ハ 介護予防の推進

生活環境の調整や居場所と出番づくりなどの環境へのアプローチを含めた、バランスのとれたアプローチが重要。そのため、リハビリ専門職等を活かした自立支援に資する取組を推進する。

ニ 市町村、住民等の関係者間における意識の共有と自立支援に向けたサービス等の展開

地域の関係者間で、自立支援・介護予防といった理念や、高齢者自らが介護予防に取り組むといった基本的な考え方、地域づくりの方向性等を共有するとともに、多職種によるケアマネジメント支援を行う。

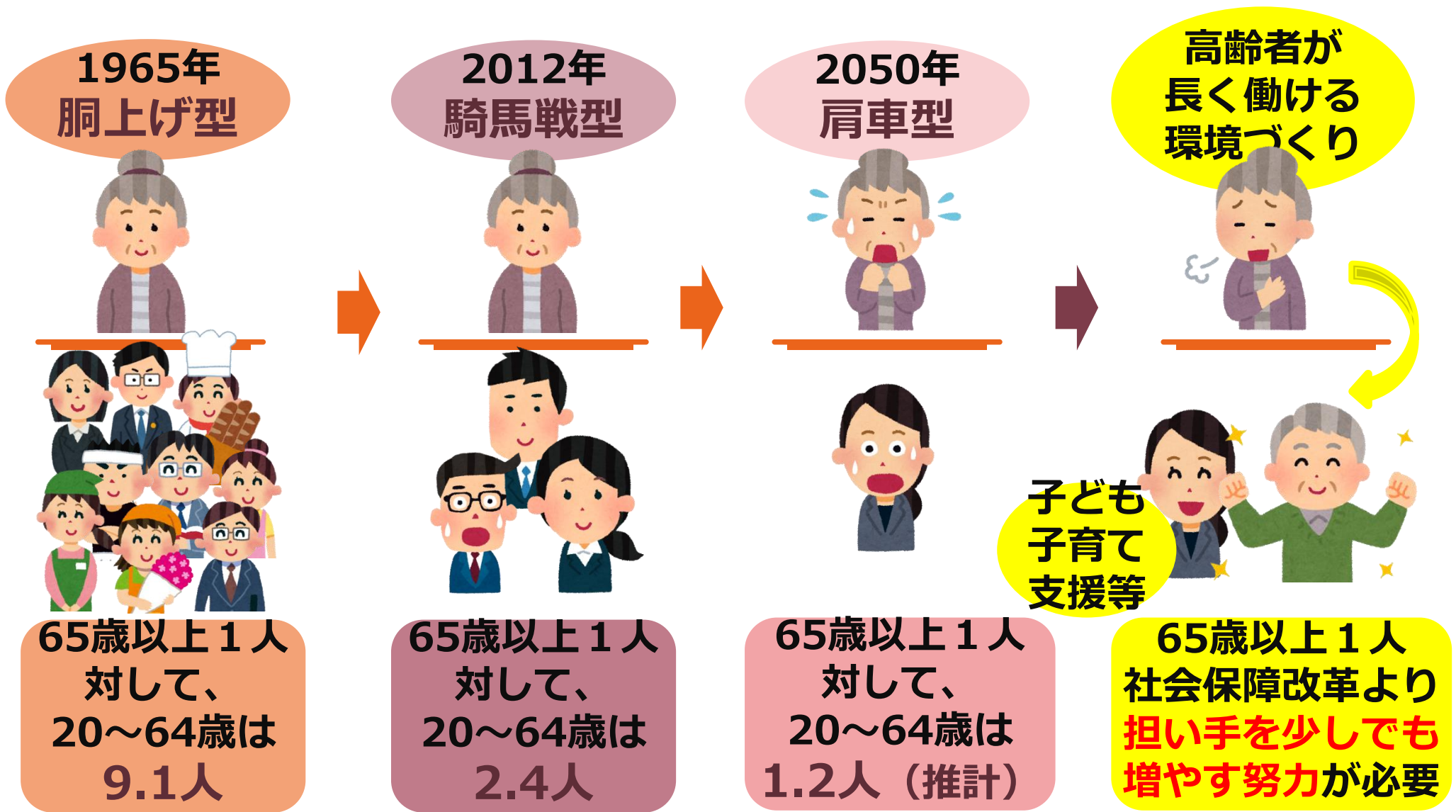
ホ 認知症施策の推進

ボランティア活動に参加する高齢者等に研修を実施するなど、認知症の人に対して適切な支援が行われるようにするとともに、認知症サポーターの養成等により、認知症にやさしいまちづくりに積極的に取り組む。

ヘ 共生社会の推進

地域のニーズが要支援者等だけではなく、また、多様な人との関わりが高齢者の支援にも有効で、豊かな地域づくりにつながっていくため、要支援者等以外の高齢者、障害者、児童等がともに集える環境づくりに心がけることが重要。

総合事業の目的は、「住民主体による支援」の充実



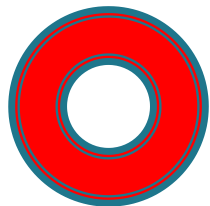
孫の肩に乗るより、担ぎ手になりたい！！

2 新しい総合事業の正しい理解



誤った理解

- ・要支援者を介護保険から切り離す
- ・基準緩和型のメニューをつくり、給付費を減らす



正しい理解

- ・高齢者の生活を支えるには、制度では解決できない範囲があり、その解決には多様な主体の力が必要である
- ・高齢者が社会参加や社会的役割を持つことで、フレイルを防ぐ
- ・行政、市民、事業者との協働により、自立支援に資するケアマネジメントにつなげる
- ・結果として、高齢者支援が介護保険に依存した状態から、高齢者自身による介護予防や地域・家族による支援へと変化する

3 住民主体による支援を広げるために

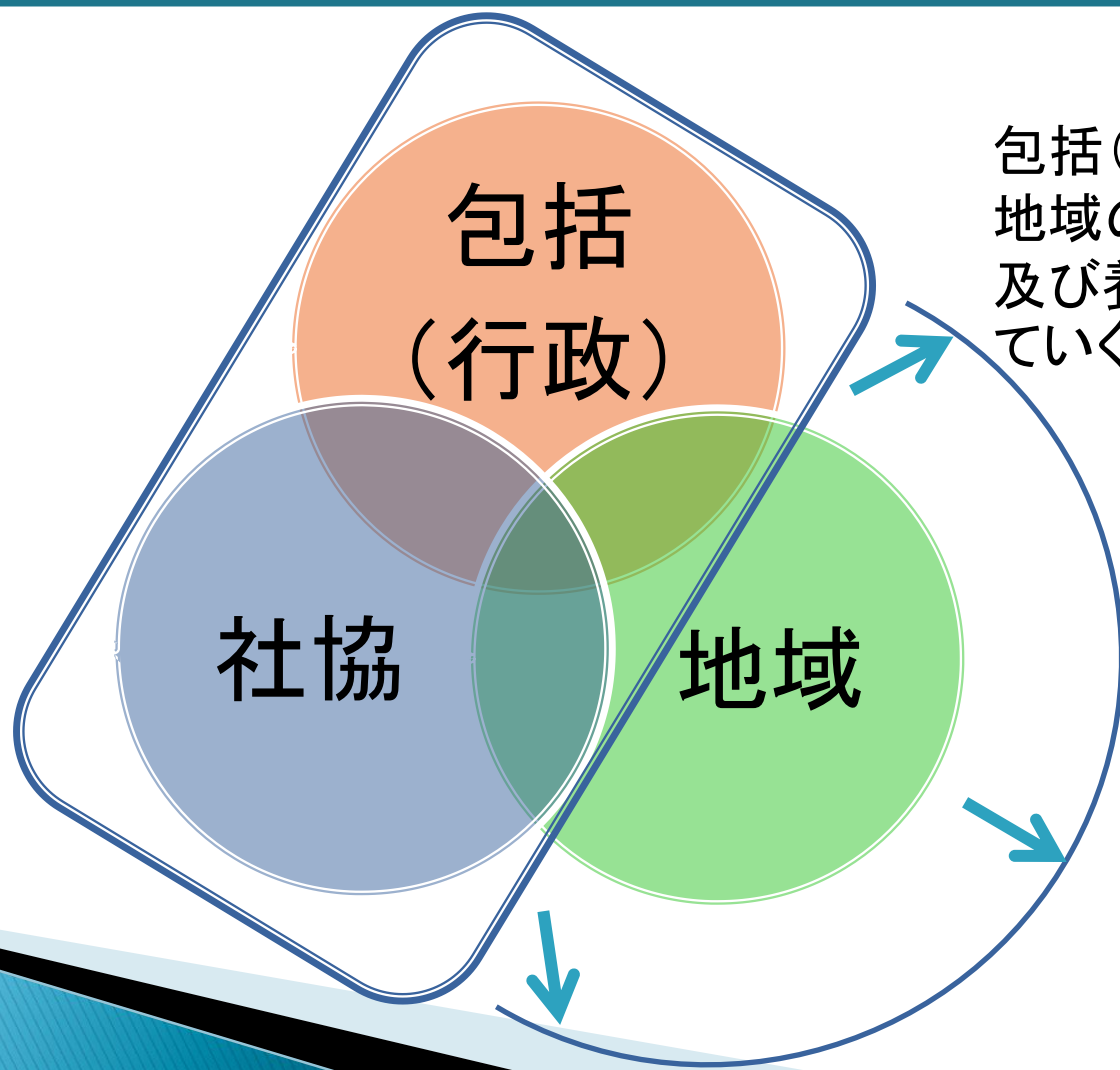
- 生活支援体制整備事業を活用

- 各地区に「協議体」、「生活支援コーディネーター」を配置（現在進行中）

- 「協議体」は、多様な主体間の定期的な情報の共有・連携強化を目的とする

- 「生活支援コーディネーター」は、サービス開発やニーズとサービスのマッチングを役割とする

前橋市では、生活支援コーディネートチームの構築を目指しています



包括（行政）と社協が協力して地域のコーディネーターの発掘及び養成等を行い地域に広げていく。

4 生活支援体制整備事業とは

内容

「住民同士が、地域の困りごとを、解決に向けて話し合う」事業



効果1

地域の全体が見えてくる
（“知る”ステージ）



- ・新たな交流が生まれる
- ・日常生活で困っている人が見えてくる
- ・地域の困りごとが見えてくる
- ・地域を支えている活動が見えてくる
- ・地域で頑張っている人が見えてくる
- ・地域に足りないものが見えてくる
- ・地域の目指すべき方向が見えてくる

効果2

地域への視点が変わる
（“気付く”ステージ）



- ・色々な考え方の人がいるんだ
- ・瓶の蓋が開けられない人もいるんだ
- ・移動に困っている人が多いんだ
- ・この美容室は、出張してくれるんだ
- ・民生委員の活動ってこんなに大変なんだ
- ・気軽に寄れる場所が少ないんだ
- ・多様性を認め合える地域にしたいな

効果3

地域の活動が生まれる
（“動く”ステージ）



- ・もっと色々な人の話を聞いてみよう
- ・瓶の蓋を開けるなんて簡単なことだから、助けてあげよう
- ・地域の社会福祉法人に相談してみよう
- ・あの美容室使ってみよう
隣のお婆さんにも教えてあげよう
- ・民生委員にばかり負担が掛からないように、声掛けくらいはやってみよう
- ・夫婦だけで住んでいて寂しいから、近所の人を自宅に呼んでみよう
- ・近所に住んでる外国人に話掛けてみよう

お互い支え合えたら、安心して生活できますね。